

わかくさ学級 総合的な学習の時間 活動略案

令和7年11月21日 5校時
 フラベジマッシュ 7名
 1年1名 2年2名 3年1名
 4年2名 5年0名 6年1名
 わかくさ大教室(1階)

1.単元名 「ひみつきち プロジェクト2」～花と野菜ときのこを植える!育てる!楽しむ♪～

2.本時のねらい

グループの仲間と話し合って、ドライフラワーを使ったキャンドルを作ることができる。

3.教師の願い

○自分たちで育てた花を、無駄なく丁寧にキャンドルづくりに生かしてほしい。
 ○仲間との話し合いを通して、自分たち独自のキャンドルを作り上げてほしい。

4.前時の様子

自分たちでキャンドルに入れたい花を選び、シリカゲルを使ったドライフラワー作りをした。

5.本時の展開(29/52)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等	評…評価
1.本時の流れを確認する。 C:今日はみんなが育てたお花で作ったドライフラワーを使って、キャンドルを作ります。	○ドライフラワー・キャンドルの作り方を分かりやすく掲示する。	
2.活動の準備をする。 C:お花が壊れないように運んでね。 C:汚れないようにシートも敷くよ。	○使用する道具を出しておく。どのようにしたら活動しやすいか相談しながら道具を並べるように声掛けをする。	
3.キャンドルの中に入れるドライフラワーを準備する。 C:どの色の花がきれいかな。 C:私はこの色が好きだから、この花を入れよう。 C:この花がもっと欲しいな。 C:僕のお花あげるよ。 C:ありがとう。 C:このくらいのお花で足りるかな。	○ドライフラワーは壊れやすいため、丁寧に扱うように声掛けをする。 ○ドライフラワーは数に限りがあるため、相談しながら使用するように促す。 ○子どもが使用するドライフラワーは各自バットなどに入れるように声掛けをし、使用する材料が混ざらないような環境を作る。	
4.芯となるろうそくが入った大きめの容器に、ドライフラワーを並べる。 C:たくさんお花を入れたいな。 C:きれいに並べて入れよう。 C:花がすぐ壊れちゃうな。 C:優しく入れないとダメだね。	○教員が作成したキャンドルを例として作業台に置いておく。 評自分たちの作った限りある材料をメンバーと相談しながら使用し、オリジナルのキャンドルを作ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察・発言)	
5.片付ける。		
6.本時の活動を振り返る。 C:ドライフラワーが壊れやすくて大変だった。 C:花がなかなかきれいに並ばなかった。 C:いろんな花をたくさん入れられてよかったです。 C:どんなキャンドルが出来上がるかな。	○キャンドル作りを振り返って、作った感想や困ったこと、工夫したことを見員の前で発表し共有することで、次回に向けての改善点や工夫などのポイントを考える。	